

みんなのた場



新メンバー加わり再出発 今年も慰問演奏会なども

琴城流大正琴石巻支部・河北教室

河北総合センター「ビッグバン」の一室に、風流な大正琴の音色が響きます。大正琴は左手でキーを押さえ、右手に持ったピックで弦をつまびく日本独特の楽器。弾いているのは琴城流(きんじょうりゅう)大正琴石巻支部・河北教室の皆さんです。

10月に再開しました。「新しい講師をお願いし、新メンバーも4人加わって9人で再スタートしました」と山崎正子さん(84)。新メンバーの一人、千葉はつえさん(76)は「孫の子守も終わったし、何かやってみて良かったです。演奏は難しいけれど楽しいです」と笑います。

活動を再開して1年後の昨年11月23日には、ビッグバンの文化交流ホールで石巻支部24教室が一同に集う演奏会が催されました。河北教室の皆さんもステージへ。「大きな舞台で演奏してみたかった。舞台から聴衆の顔が見えて感動しました」と松崎文子さん(76)。「新しい曲の譜面が渡されると、できるかどうかドキドキ。でもそれが楽しい」と今野やす子さん(81)。今年もようやく移転が進んできた復興住宅への慰問演奏会なども企画してみたいとのこと。

月2回の練習は、お菓子や漬物を持ち寄って会話に花が咲くお茶タイムにもなっています。練習日は体験受講も可能なので「興味のあがる方は気軽に参加してみてください」と呼び掛けています。



真剣なまなざしで稽古に励む会員たち



琴城流大正琴石巻支部・河北教室の皆さん



第28回 市立病院の外来診療について 石巻市立病院 病院長 椎葉 健一

新年あけましておめでとうございます。日頃より皆さんには石巻市立病院へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。本年も、基本理念であります「市民に愛される病院 市民に信頼され 市民が満足する質の高い医療の提供」を目指し、誠心誠意努力を続けてまいりますので、温かいご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、当院は移転・開院してから1年4カ月が経過しようとしています。これまで大きなトラブルに見舞われることなく、外来・入院患者数、各種検査件数、手術件数などの診療実績は順調な伸びを示しております。しかし、診療の体制や患者サービスなどにおいて、まだまだ多くの課題があり、市民の皆さんからはさまざまな貴重なご意見を頂戴しております。そのなかで特に多いのが外来受診についてのご質問です。

当院では、内科・外科・整形外科の三つの診療科で外来診療を行っていますが、内科と外科に関しては、受付時間を初診は8時から11時まで、再診は8時から11時30分までとしています。受診に際しての予約や紹介状は必須ではありませんが、初診の方はかかりつけの先生からの紹介状をお持ちいただくと、外来の担当医師が正確な医療情報を短時間に把握でき、効率の良い診察に移れます。これまでの経過、治療内容、その効果などの蓄積された貴重な情報を当院での診療にぜひ役立たせていただきたいと思います。

一方、整形外科に関しては骨折や肩、膝、股関節等の手術需要が極めて高いため、2人の常勤医師は入院による手術治療を中心に据えて診療に励んでおります。火、水が手術日のため、月、木、金を外来日としています。そのため整形外科専門医の診察を希望される場合には「診察の予約」と「紹介状の持参」を必要条件としてお願いしている次第です。どうかご協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

また、急な体調不良や不慮のけがなどの患者さんは随時受け付けていますが、夜間や休日は当直医が初期対応を行いますので、可能な範囲で事前に電話連絡をいただき、スタッフの指示を仰いでいただくと幸いです。

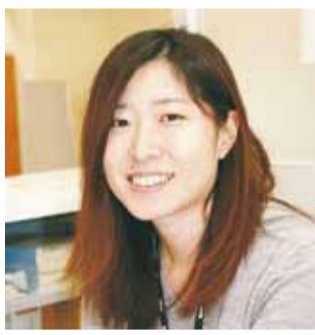
当院では外来業務の一環として「人間ドック」や「脳ドック」などの健診業務を行っております。詳しくは当院のホームページをご覧ください。

昨年、10月からは「なるほど健康塾」という健康講座を開講しております。予防医学の観点からも市民の皆さんの健康に貢献できるようさまざまな取り組みを行って参りたいと存じておりますので、今年も石巻市立病院をよろしくご協力申し上げます。

キラッとパチリ

復興住宅課

白石 恵さん 31歳
千葉県千葉市から派遣



ついでです。仮設住宅で暮らす方の生活に直結するので、業務が滞らないよう心掛けています。

石巻に暮らしてみ、復興の応援で石巻に入りしている方がたくさんいること、そこからたくさんの方の交流が生まれていると感じています。復興でできた人の輪、絆を絶やさないようにしたいと思います。

間もなく派遣期間の1年になります。民間物件を借りて復興公営住宅とする業務を担当しています。建築を学び、千葉市役所でも建築関係部門にいたるので、経験が役に立

絆絶やさず発展を

鯨は「高たんぱく、低脂肪」

食育推進コーナー

《くじら稿》

石巻魚市場の須能邦雄社長に鯨の川柳を作ってもらいました。

石巻(鮎川)は近代捕鯨の発祥地として栄え、従事者も多く、鯨は地元の人々の身近なたんぱく源(高たんぱく、低脂肪)でした。



「くじら」に関する川柳を作ってみました。

- ① 鯨飲と 馬食の宴 セミ枕
 - ② 南水洋 北極海も 遊び場さ
 - ③ ペンギンも カモメもクマも 鯨友会
 - ④ 枝豆の 鯨料理は ミスマッチ
 - ⑤ 虹色の 戦士に耐える 日新丸
- 〔反捕鯨船名、レインボーウォリアー〕
- 健康推進課(内線2617)

まちの話題

感謝を雄壮太鼓にのせて

おがつ店こ屋街オープン6周年を記念した「おがつ店こ屋感謝祭～太鼓まつり～」が11月12日、同商店街特設会場で開かれました。

県内各地から訪れた大勢の買い物客に、海鮮丼(1,000円)やあら汁(200円)などを販売。伊達の黒船太鼓保存会、味噌作胴ばやし愛好連などの地元団体のほか、東京の太鼓グループなどが演奏し、日頃の利用に感謝の音色を響かせました。



雄勝地区

おがつ店こ屋感謝祭

河北地区

町並み復元模型展示施設
オープン

記憶たどり震災前の街再現

大川地区(釜谷・間垣地区)の震災前の町並みを再現した模型を展示する仮施設が11月19日、大川小旧校舎近くの民有地にオープンしました。

(一社)長面浦海人や地元住民らによる「記憶の街」模型復元プロジェクトで制作した500分の1模型(約15平方m)を展示しています。普段は無人のため見学は予約が必要。連絡先は長面浦はまなすカフェ ☎090(7330)3311。



新たな出会いを求めて交流

第3回ものう夢ネットワーク恋活事業「もの恋」が11月26日、永井いきいき交流センターで開催されました。

男性は桃生地区から、女性は県内各地から各10人が参加。地元中華料理店と菓子店の料理や銘菓を味わいながら交流しました。男性陣は事前のアドバイスで身だしなみを整えて参加。桃生地区の魅力紹介もあり、男女が打ち解けて笑顔で語り合う光景が見られました。



桃生地区

ものう夢ネットワーク
恋活事業「もの恋」

河南地区

第12回かなんク로스スカントリー大会

寒さに負けずゴール目指す

第12回かなんクロススカントリー大会が12月3日、北村の遊楽館外周コースで開催されました。

小学や中学、一般・高校など男女別の10部門に、市内のほか大崎市や栗原市などから約250人が出場。1.0～6.85kmの起伏に富んだコースに挑みました。選手たちは好記録を狙ったり、思い思いのペースで走ったりしていました。沿道では選手の家や友人らが熱い声援を送っていました。



合唱や演舞 小中学生が熱演

地域を元気づけることを目的とした「東北電力クリスマスドリーム」が11月11日、牡鹿中学校体育館で開催されました。

牡鹿半島の小中学校5校の児童・生徒が、合唱や演舞を保護者や住民に披露しました。中でも牡鹿中学校の生徒たちは、春から練習を重ねてきた「侍ソーラン」を堂々と踊り、会場を沸かせました。この行事は、東北電力と小中学校が協働して毎年開催しています。



牡鹿地区

東北電力
クリスマスドリーム

北上地区

第14回太平洋写真学校
北上教室

復活!! 全国の愛好家が参加

北上地区の魅力写真を収める「第14回太平洋写真学校—北上教室」が12月2、3の両日、釣石神社などで開かれました。

東日本大震災を経て7年ぶりの復活です。全国から写真愛好家58人が駆け付け、竹内正、井村淳、清水哲朗の写真家3氏のアドバイスを受け、女川法印神楽やアワビ漁、ヨシ刈りなどにカメラを向けシャッターを切りました。交流会では北上の食も満喫しました。



復元の使節船 幻想的に演出

石巻の冬の風物詩「サン・ファン・イルミネーションツリー2017」がサン・ファン館(宮城県慶長使節船ミュージアム)で行われています。

復元船「サン・ファン・パウティスタ」を約1万球の電飾とライトアップで幻想的に演出された景観を、親子やカップルなど多くの市民が訪れて楽しんでいます。今回は1月8日まで期間を延長しての実施です。点灯時間は午後4時半～8時。



石巻地区

サン・ファン・イルミネーションツリー2017

石巻地区

中心市街地の交流拠点整備事業

かわまち立体駐車場が完成

市は、中心市街地のにぎわい創出や交流拠点となる「かわまちづくり」を目指し、河川堤防と商業施設・公共施設と一体となった空間整備「かわまち交流拠点整備事業」を実施しています。11月30日にかわまち立体駐車場(普通車219台)・バス駐車場(5台)が完成し、使用を開始しました。駐車料金は、普通車は60分まで無料、以降30分ごとに150円加算。バスは無料。

